

えーる！

平成 28 年号



まちづくり応援団 えーる

もくじ

第 26 号

銀嶺の舞特集

第 27 号

靴職人 福山さん特集

第 28 号

山野草のエキ特集

第 29 号

鹿野のホタル特集

第 30 号

鹿野の風プロジェクトの雑木植栽特集

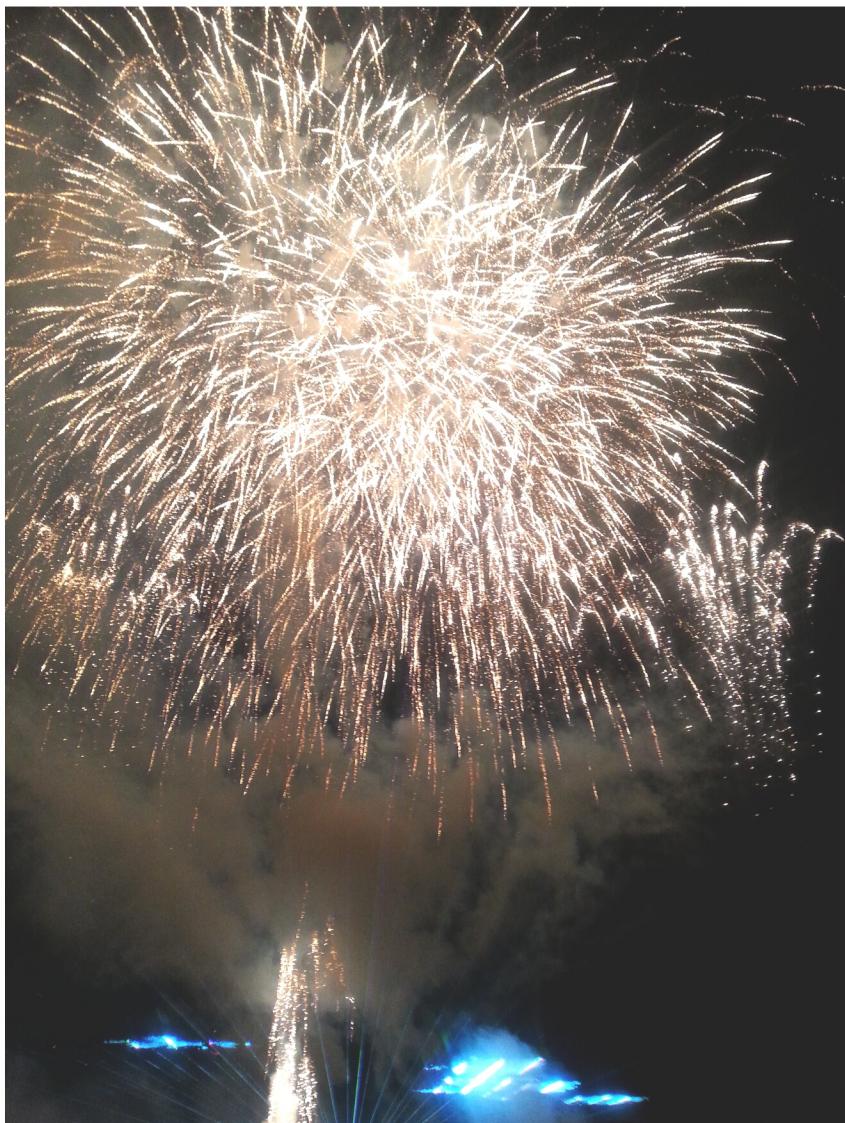
第 31 号

盆踊り特集

第 32 号

鹿野和紅茶特集

鹿野の冬はやっぱり“花火”！



花火と、レーザー光線と、音楽と。
～音と見るニアワセ。～

発行：
まちづくり応援団えーる
URL:
<http://yell.link/>
Mail:
mail@yell.link

新年あけましておめで

思います。

は夜七時からでした。
花火に先立つてレー

どうぞぎやいます！ 平成
二八年の幕開けですね。
まだまだ正月の余韻が
残る日々ですが、皆様は
いかがおすごしですか？

とうじぞいります！ 平成二八年の幕開けですね。まだまだ正月の余韻が残る日々ですが、皆様はいかがおすごしですか？さて、新年最初の「えーる！」では、過ぎ去った平成二七年の最後を飾る冬の風物詩、「銀嶺の舞」の様子をお伝えしたいと
花火大会の会場には、幸いに雪も降らなかつたためか、たくさん的人がやつて来ていました！ 鹿野の人だけではなく、徳山の方からもたくさんの方いらっしゃつていて、すっかり鹿野の名物としてこの「銀嶺の舞」が定着したんだなあとしみじみ感じます。

総合体育館を会場にして行われた「銀嶺の舞」ですが、まだ明るいうちから有志の皆さんによるたくさんの屋台が並び、賑やかでしたよ。

花火が上がり始める前は、会場の屋台やふれあいひろばで行われたステージを楽しませていただきました。花火までの様子は、裏面で詳しくお伝えいたします。

「平成二七年で、『銀嶺の舞』は二二回目を迎えることになりました。もしかすると、子どもの頃に花火を見ていた方が、今は自分の子どもと一緒に空を見上げていたかもしません。もしかすると、孫と花火を見る日が来る……なんることも、あるかもしませんね！」

「銀嶺の舞」は、花火だけじゃない！

会場には、たくさんの屋台が並んでいました！

おなじみの顔ぶれから、徳山の方からやってきたお店、鹿野中野球部によるお店などなど、目移りするほどたくさんのお店がありましたよ。

夕食時には、どのお店にも長い行列ができていました。広いと思っていた総合体育館の敷地が、人で埋め尽くされていましたよ！ わたしももちろん、ここで夕食をいただきました。

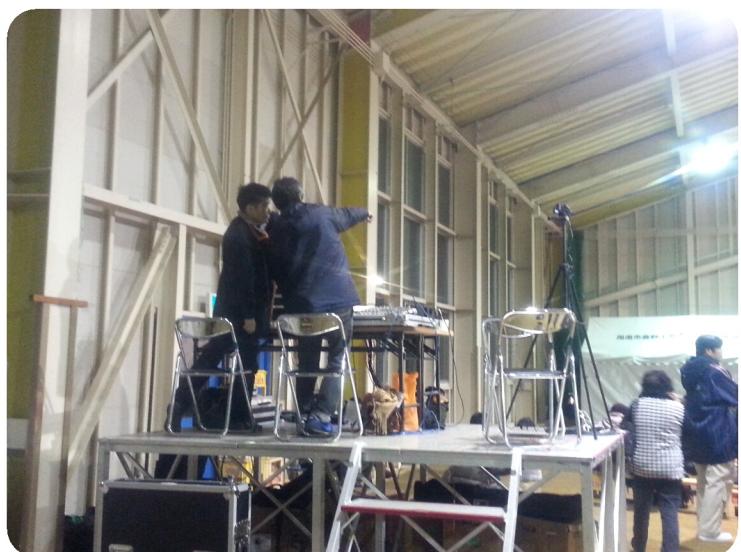


ふれあいひろばのステージでは、歌やダンスなどが披露されていました！ 写真はステージ最後のイベント、抽選会の様子です。左上の写真にあるチケットを何枚も握りしめてわくわくしていた方も多いと思います。わたしは残念ながら何も当たりませんでしたが、抽選会はドキドキして楽しですね♪

木村市長が腕まくりして選んだ景品、当たった方はおめでとうございます！

こうして無事に終わった「銀嶺の舞」は、たくさんのスタッフの尽力の上に成り立っています。冬花火実行委員会、鹿野総合支所産業土木課の皆さん、屋台を出店された皆さん。そしてもちろん、来場された皆さんも、たくさんの人々が集まって今回も大成功で幕を閉じることができました。

まちづくり応援団えーるでは、平成二八年も皆さんの「がんばっている姿」を応援していきます！
今年も一年、よろしくお願いいたします。



靴で呼ぶ、鹿野への“一步”



え
ー
る
！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL:
<http://yell.link/>
Mail:
mail@yell.link

地元で造る靴、その思いをお聞きしました。

二月も終わり、だんだん春が近づいてきましたね！ まだ風は冷たさですが、日差しがだんだん春めいてきたように思います。

さて、皆さんには鹿野に靴屋さんがあるのをご存知ですか？ 大地庵にあつた、旧三浦商店さんの店舗に工房を構えて、四月から開店予定のお店を切り盛りするのが、上の写真の福山さんです。

今回は、福山さんが鹿野にやってきた理由を聞いてみたいと思い、取材に行つてきました。

福山さんの生まは徳山です。北九州市の写真館で働いていたんですけど「元々地元で靴を作りました」という夢をかなえるため、徳島県で補装

具を作る仕事をしながら靴をオーダーメイドで作るようになりました。実際に、徳島へいらっしゃった最後の頃は、靴の受注を受けて生計を立てられるほど、お仕事も受けられていたんですよ。

福山さんの作る靴は一つ一つが手作りです。完成するまでは、何度もお店に足を運んでもらう必要がありますから、当然何度も鹿野に足を運ぶことがありますね。その中で、鹿野の魅力を知ってほしい、鹿野の外の人を、鹿野に呼ぶための方法にしたい、と思いを話してくださいました。

そんな福山さんは、なぜ生まれた徳山ではなく、山間の鹿野を選んだのでしょうか？ 「子どもの頃から、父の仕事の関係で、夏になると鹿野を訪れていたんですね。鹿野には安らぎや懐かしさを感じていて、大人になつてもよく鹿野を訪れていたんですよ」

こう語る福山さんに鹿野の魅力について聞いてみると、「鹿野にはただの田舎ではない、洗練されたイメージを感じています。まる

で他の国に来たような、そんな不思議な雰囲気を感じるんですよ」と話してくれました。

靴ができるまで～工房風景～

表面では、福山さんのお人柄、思いに触れさせていただきましたが、こちらではその製作の現場風景に触れてみたいと思います。どんな場所、どんな道具、どんな技術で、靴は生み出されていくのでしょうか？

工房の様子を見させていただきました！

①木型を作ります。

まずは注文した方の足形を取り、木型を作るところから作業は始まります。

この作業に一番時間がかかり、足にぴったりに型をとっても、実際に靴を作ると合わないことがあるんです。何度もお客様に来てもらいながら、型を削ったり、逆に付け足したり……微調整を要求される、もっとも難しい工程なんですよ。



②靴を縫います。

「これで足に合う！」という確信が持てたところで、いよいよ靴を作り始めています！

丈夫さが必要な靴のふちを革すき機を使って補強したりという作業を行なながら、ミシンを使って靴を作っています。福山さんに実際に使っていただいたのは「18種ミシン」という、とても細かな縫い目のミシンを使っていただいた写真です。とても細かく、集中力が必要な作業ですね！

そして右の写真のように、しだいに靴の形ができてきます。まだ靴底はついていませんが、かなり靴の形になっていますね。

靴が一足できるまでには、材料を揃え、木型を作り、靴を縫い……という工程で、なんと2か月もの時間がかかるのだそうです！



★靴を直します。

こうしてできあがった靴ですが、使い込んでいけば当然ぼろぼろになってきちゃいますね。

福山さんの工房では、靴を作るだけではなく、靴の修理も行っているんですよ。

はき続けて、ぼろぼろになってしまった靴をお持ちの方は、一度ご相談してみてはいかがですか？



ご相談は、
こちらまで
どうぞ！



エキの山野草、ご覧あれ



え
ー
る
！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL:
<http://yell.link/>
Mail:
mail@yell.link

「山野草のエキ」の見どころ、到来です！

いつの間にか田植えの季節ですね！この時期は、一年前に「えーる」で取材した、石鍋田地の「山野草のエキ」が見ごろを迎える時期でもあります。

現在エキを管理しているのは「山野草のエキ」保存の会の皆さんです。毎月一・三週の水曜日に活動されておられ、会員数は、なんと一六人に増えているんです！

会員は鹿野の人はもちろんですが、遠くは山口市や岩国市からも参加されています。この会に参加したい、という方はどんどん増えているんですね。

会の活動は、倒木を片付けたり、歩きやすいよう階段を作ったり、防獣対策の柵を設置するな

ど……山の管理が中心になっています。

中には、保全活動の手助けをされるだけではなく、新しく八種類もの山野草をこの場所に植えてくださった方もいらっしゃるんですよ。

一七年もの間、一人でエキの管理を続けてきた

伊藤芳高さんのご遺志を引き継いでいるだけ、と

いう話ですが、鹿野内外の皆さんのが地道に保全活動を続けているからこそ、

この「山野草のエキ」が

支えられているのだと思

います。

このエキを見るために、

遠く下関や北九州市からも鹿野にやってくる方がいるそうです。

実際、わたしがエキを取材しに行った時も、エ

キを歩いている方が何人

もいて、「すごい！」、「素敵！」と感動の声を聞くことができました。

たくさんの花が植えられていますから、秋頃まで色々な花が咲いていて、長い期間花を楽しむことができます。でも、一番の見どころはやっぱり今！

エキへの立ち入りは自由なので、一度散策に訪れてみるとも楽しそうです。きっとその花の種類の多さに、びっくりされると思いますよ。

ちなみに上の写真は、四月ころに咲いていた「ミズバショウ」の花です。エキの中には浅い池も作ってあって、その水の中にたくさん白い花を見ることができます。

続いて裏面で、エキの様子を紹介していきたいと思います！

「エキ」を歩いてみました～春の花探訪～



4月・5月と二度取材に訪れましたが、エキにはたくさんの花が咲いていました！

それぞれの花の近くには名札がつけてあるので、花の名前がわからなくてもすぐわかるのがいいですね。

左の写真は4月に撮影したスイセンの花です。高い所に咲いていたので、近くに行って撮影することはできませんでしたが、かなりたくさん咲いていましたよ！

ちなみに、道の近くに植えられたスイセンも見かけました。あちこちに同じ種類の花が植えてあるので、遠くから眺めたいときも、近くで見たいときも、すぐ同じ花を探すことができますよ。

出口付近は、かきわけないと道がわからないほど、花が咲いていました！

山の急な斜面を下りながらなので、足元に注意しながらの撮影になりましたが、ピンク色の花はとてもきれいでいた。この写真の場所だけではなく、かなり長い距離にこの花のトンネルができていて、順路の最後を飾るのにふさわしい華やかさでしたよ。

この他、今は咲いていませんが「藤袴（フジバカマ）」と書かれた名札がありました。「旅をする蝶」であるアサギマダラのやってくる、あのフジバカマのことと思われます。もしかすると、このエキにもアサギマダラがやってくるのかも！？



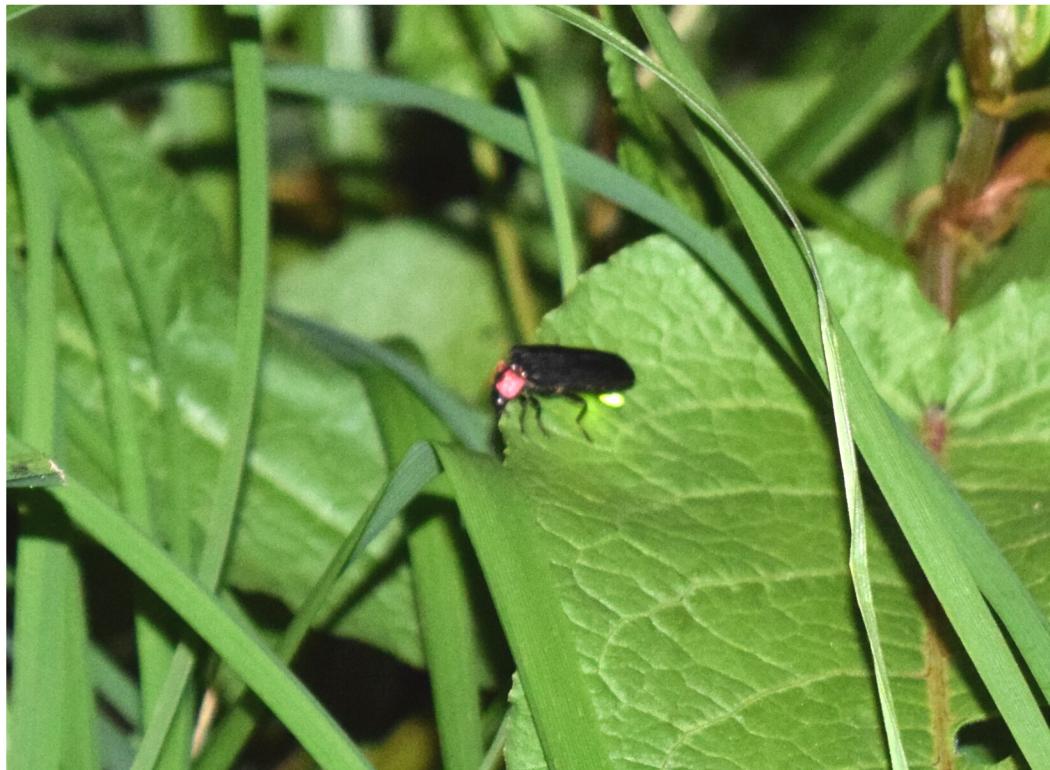
残念ながら写真では花の美しさだけしかお伝えすることができませんが、エキでは風の音、鳥の声をたくさん聞くことができました。

動物の姿を見ることはかないませんでしたが、エキの中に作られた池にはオタマジャクシが泳いでいました。花以外の命も、たくさん息づいているんだな、と感じさせられました。わたしはこのエキを何度か訪問していますが、山野草以外にもたくさん見どころがあって、飽きがこないんですよ。

是非、皆さんもエキに足を運んで、たくさんの山野草、風や鳥の声を感じ取ってみてくださいね。



蛍の舞う季節です



えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL:
<http://yell.link/>
Mail:
mail@yell.link

夕涼みに、蛍を見に行きませんか？

梅雨の季節ですね！

雨でじめじめした天気が続いているが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか？

そんな雨の続く6月、夜にはちょっとしたお楽しみがあるんですよ。そしゅ、蛍です！

鹿野で蛍を楽しむイベントと言えば、大潮の「大潮ホタル祭り」や、豊鹿里パークの「ホタルのタベコンサート」が有名ですね。両イベントの会場に足を運んで、蛍を楽しめた方もいらっしゃると思います。

家の近くまで蛍が飛んでくることもありますね。わたしの家の周りでも蛍が飛んでいるのを見かけます。窓から蛍が迷い込んできた、なんてこともありました。蛍が部屋に

入ったまま寝ようと思つたら、壁でじっとしていだ蛍が急に光り始めたんです。光が気になつて寝付けなくなるほど、狭い部屋の中では明るく輝いていたんですよ。その光の強さには、びっくりしました！

ちなみに、家の近くで見かけた蛍は「ゲンジボタル」という種類の蛍でした。上の写真のような、頭が赤い蛍です。より小型の「ヘイケボタル」「ヒメボタル」という種類もありますが、ゲンジボタルの方が光が強く、見たことがあるんですよ。

多少濁った水でも生息できるヘイケボタルと違ひ、ゲンジボタルはきれいな水でないと生きていふことができません。きれいな川を守ることが、きれいな蛍を見続ける秘

川に行ってみるといいかもしません。でも、強い光を浴びると蛍は光らなくなってしまいます。上の写真を撮影したときにはカメラのフラッシュをいたんですが、しばらく蛍が光らなくなつてしましました……。鑑賞する時は明かりを消して、なるべく暗くして見てくださいね。

そんな蛍がよく飛ぶ時間は、夜の七時～九時頃なんですね。日が長くなつてきているので、真っ暗になるのは八時頃かな？

懐中電灯片手に近くの川に行つてみるといいかもしません。でも、強い光を浴びると蛍は光らなくなつてしま�니다。上の写真を撮影したときにはカメラのフラッシュをいたんですが、しばらく蛍が光らなくなつてしましました……。鑑賞する時は明かりを消して、なるべく暗くして見てくださいね。

そんな蛍がよく飛ぶ時間は、夜の七時～九時頃なんですね。日が長くなつてきているので、真っ暗になるのは八時頃かな？

懐中電灯片手に近くの川に行つてみるといいかもしません。でも、強い光を浴びると蛍は光らなくなつてしま�니다。上の写真を撮影したときにはカメラのフラッシュをいたんですが、しばらく蛍が光らなくなつてしましました……。鑑賞する時は明かりを消して、なるべく暗くして見てくださいね。

川に行つてみるといいかもしません。でも、強い光を浴びると蛍は光らなくなつてしまります。上の写真を撮影したときにはカメラのフラッシュをいたんですが、しばらく蛍が光らなくなつてしましました……。鑑賞する時は明かりを消して、なるべく暗くして見てくださいね。

そんな蛍がよく飛ぶ時間は、夜の七時～九時頃なんですね。日が長くなつてきているので、真っ暗になるのは八時頃かな？

懐中電灯片手に近くの川に行つてみるといいかもしません。でも、強い光を浴びると蛍は光らなくなつてしま�니다。上の写真を撮影したときにはカメラのフラッシュをいたんですが、しばらく蛍が光らなくなつてしましました……。鑑賞する時は明かりを消して、なるべく暗くして見てくださいね。

雨上がりは、橋に行こう！

蛍は川沿いの土手を飛んでいることが多いので、蛍を眺めるなら橋の上から見るときれいです。渋川と錦川沿いから「これは！」という場所をご紹介いたします。雨上がりは蛍が飛びやすいので特におすすめですよ。是非、足を運んでみてくださいね♪



石船温泉前を流れる渋川にかかる、「権地（ごんち）橋」からの眺めです！ 渋川の水はとても澄んでいて、水面には土手の木々が映り、川底を見ることもできるほど透き通った水が流れているんです。

夜になると、写真奥側の木々の辺りを、小さな緑色の光がいくつも飛び交っているのが見えました！ 車を止めやすい場所なので、行き来もとても楽なんですよ。

こちらは錦川流域、山口銀行の保養所があった場所の手前にかかる橋からの光景です！ 周囲が木々でおおわれていて明かりが少なく、蛍の小さな光もばっちり見ることができました。あちこちから蛍を見るために入人がやってくる、隠れた名スポットなんですよ。

大潮方面は6月下旬が一番蛍が飛ぶので、暗がりを舞う蛍の様子を、見に行ってみてはいかがでしょうか？



渋川と錦川の合流地点近くにあるここ堤橋も、実は隠れた蛍スポットです。川の真ん中にある繁み、写真右側の土手付近に、たくさんの蛍が飛び交っていました。

実は、表面の蛍の写真もこの付近で撮影しました。蛍をかなり間近で見ることもできるんですよ。

比較的町なかなので、ちょっとそこまで……という感覚で、足を運ぶことができる場所もあります。

雑木で吹く鹿野の“風”



えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL:
<http://yell.link/>
Mail:
mail@yell.link

鹿野の木は、ゆっくり、ゆっくり、育っています

今、鹿野のあちこちに

雑木が植えられているのを存知ですか？ これは鹿野の店主が中心になって結成された「鹿野の風」プロジェクトさまによって植えられたものです。

「鹿野の風」プロジェクト

ト発足は平成二二年。鹿

野に住む入口「定住人口」

を増やすため、まず鹿野

を訪れる「交流人口」を

増やし、鹿野を元気にし

たいという思いから始ま

りました。七店舗で始まっ

たプロジェクトも、今で

は一四店舗まで参加する

お店が増えています。そ

の活動は、県内の道の駅

などに置かれた「鹿野の

お店マップ」やテレビ放

送、県内の経済等を掲載

する冊子「やまぐち経済

月報」の取材を受けるな

ど、各所で紹介されてい

るんですよ。

手始めに企画された期間限定の特別メニュー販売の様子は「えーる！」でも何度か取材させていただきました。しかし、

たくさん的人がくると、

くらした時間の流れ」を

感じにくくなってしまう

のも事実でした。ゆっくり

りした空虚の中で、心地

よい時間を過ごしてほし

い……そんな思いから、

鹿野ならではの景観を作

るために、この植樹計画が

始まりました。三年前か

ら、上の写真のように手

作業で植樹が始まっているんですよ。

「鹿野の風」プロジェクトの参加店舗が増え、活

動が紹介され、どんどん

大きくなっているのと同じように、植えられて間

もない、細く頼りない印象を受ける木も、五年十年と時間が過ぎれば大きく育ち、立派な木陰を作ることでしよう。

いつか、大きく育った木の下、暑い日は木陰のベンチで一休み……なんて光景が、鹿野のあちこちで見られるようになると思います。その頃には、たくさん取り組みが実を結び、今よりもっと素敵な鹿野ができるいるのではないか。

鹿野の人口は、一五年後には三千人ほどになる

見込みです。だけど、みんなで鹿野を変えていけば、この見込みをくつがえすことができるかもしれません。

鹿野の未来をつくる「風」を、みんなで起こしていきましょう！

町なかの“雑木”たちを訪ねて



「鹿野の風プロジェクト」の尽力で、鹿野のあちこちに雑木が植えられ始めています！この紙面では、特に町なかにある木々に焦点をあてて、植えられた木々をご紹介していきます。

「えーる！」27号で紹介した、靴を作られている福山さんの工房の横です。電信柱の横に、木が植えられていますね！まだまだ細く小さな木ですが、これからどんどん大きく育ってくれそうです。



こちらは、鹿野のメインストリートにあるお試し暮らしの家「愛ちゃん家」の前です。家に影ができるほど、大きく育ち始めています。

木陰にはベンチも設置されていて、ちょっと一休みすることもできるようになっています。腰を下ろせる場所があると、とても便利ですね。



こちらは、旧活鮮ストアの駐車場に植えられたものです。周辺が石で囲ってあって、ちょっとした庭のような感じもしますね！

駐車場だったためアスファルトに囲われた場所ですが、緑があるとなんだか心が落ち着くような気がします。癒し、ですね！

「いっておかえり 鹿野市」でもおなじみの鹿野ブランド創出研究会さまの企画で、鹿野の町なかには風鈴がつるされています！

雑木の写真撮影のために町なかを歩いていると、風に揺れてガラス製の風鈴が「からころ」と音を立てていました。風鈴はもともと、魔よけの器具として使われ始めたそうですが、しだいに暑気払いのために使われるようになってきました。今でもこの音を聞くと、なんだか気持ちが涼やかになってきますね。町なかを散歩する時は、風鈴の音も楽しんでみてくださいね♪



夏といえば盆踊り！



え
ー
る
！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL:
<http://yell.link/>
Mail:
mail@yell.link

鹿野のお盆を彩る、「やまんせ」の口説きと太鼓の音♪

朝晩はだいぶ涼しさを感じるようになつてきましたね。今回の「えーる！」では、夏の風物詩である盆踊りの様子をお伝えしていくこうと思います。

上の写真は、特別養護老人ホームやまなみ荘さまの盆踊り大会です。提灯がともる中、皆さんがあつたね。踊っていたのは「やまなみ人生音頭」。これは日本舞踊の会である山村会さまの協力によつて作られたものなんですよ。

やぐらを廻んでたつメントでは、やまなみ荘の利用者の方々が踊りを眺めていました。他にも大会に協賛されている鹿野ファームの出店があつたり、子ども達に大人気の射的コーナーがあつたり、明るいうちからたくさん的人が集つた会場

は、とてもにぎやかで楽しい雰囲気でした。

鹿野の盆踊りは、かつては初盆の家の前で踊り、その家の人気が踊る人をもてなす、という風習でした。今ではやまなみ荘さまのように、一か所に集まって踊るようになってきていますね。

毎年、鹿野の各地で行われる盆踊りの開催には、たくさんの人たちが関わっています。その際に踊りの音頭として唄われているのが「口説き歌」です。元々、歌の多くは江戸時代の末期に作られた人情噺でしたが、その後みやすさから、盆踊りの口説きとして歌われるようになりました。

口説き歌は「あらよういやさ」「あらえんえのえんえのさーあのせ」といふうになつていつたんです。口説き歌は「あらよういやさ」「あらえんえのえんえのさーあのせ」といふうになつていつたんです。お盆で帰つて来たご先祖様も、にぎやかな会場の様子に、大満足のこと

う合いの手を交えながら、太鼓の音とともに盆踊りを盛り上げます。現在は、

写真の紅白幕にも名前が見える鹿野さんさ保存会さまがこの口説きや太鼓の技を伝えていらっしゃるんですよ。

太鼓の音とともに盆踊りを盛り上げます。現在は、写真の紅白幕にも名前が見える鹿野さんさ保存会さまがこの口説きや太鼓の技を伝えていらっしゃるんですよ。お盆で帰つて来たご先祖様も、にぎやかな会場の様子に、大満足のこと



コアプラザ前でも盆踊り♪

仮装盆踊り大会！

八月一五日には、周南市社会福祉協議会鹿野支部さまにより、コアプラザ前の前で仮装盆踊り大会が行われました！ 大会前に開かれた慰靈祭では、鹿野仏教団である沙羅の会さまの読経があり、今年初盆を迎えた故人をしのびました。

外ではまだ明るいうちから鹿野さんさ保存会さまが準備を進めていらっしゃいました。だんだんと周囲が暗くなつていく中、さんさの口説き文句が聞こえ、太鼓が鳴り始めます。浴衣姿、普段着、思い思いの姿の人たちが会場に集まり、約二時間の間、威勢のいい口説き文句と太鼓の音に乗せて、踊りは続いたんですよ。



この盆踊り大会は「仮装」と銘打つてあるように、仮装大会でもあるんです！ 踊りの途中から、ゲームのキャラクターだったり、スイカに扮してみたり、色々な姿の皆様が加わり、会場を盛り上げました。初盆を迎えた故人の皆様も、きっと楽しい時間を過ごすことができたと思います！

踊りの様子は「えーる！」のホームページから見ることができます。写真では伝わらない口説きの声、踊りの様子をご覧になつてくださいね♪

誕生、"天空の紅茶"



え
ー
る
！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL:
<http://yell.link/>
Mail:
mail@yell.link

ほつとする、鹿野の味。鹿野和紅茶に魅力あり！

早いもので、平成二八
年も終わりが見えてきま
したね！ 気候も秋とい
うより、もう冬のような
寒さになってしまった。

今回は十月二九・三〇
日に開催された「いって
おかれり 鹿野市」の中

で販売されていた、新し
い鹿野茶をご紹介します！
これまで鹿野茶につ

いては何度かご紹介して
まいりましたが、それは
あくまで「釜炒り」など、
日本茶としての飲み方で
した。しかし、今回はな
んと！ 鹿野茶を紅茶に
してしまおうという試み
がなされたんです。

生産者の一人である安
永さん曰く「天空の紅茶」。
それは、いったいどんな
お茶なのでしょうか？
日本茶も紅茶も、同じ
茶葉から作られるもので

ですが、加工の方法が、お
茶の姿を大きく変えるん
ですね。紅茶は茶葉を発
酵させて作るもので、綠
茶には「初摘み茶」があ
るよう、若い葉を使う
ことがあります。この
紅茶は七～八月まで育っ
た茶葉が適しているそ
うです。成長した茶葉を手
で摘み、ていねいに手間
暇かけて精製したのが、
この「鹿野和紅茶」とい
うわけです！
それでは、肝心の味の
方はいかがでしょうか。
この鹿野和紅茶をいただ
いてみました。

暖かい紅茶から漂う香
りは、まさに紅茶そのも
の。ですが、その味は…
…砂糖を入れないで飲ん
だにも関わらず、釜炒り
茶としていたいた時の



ような、どこかほつとす
る、やさしい味でした。
天空の地と言うにふさ
わしい、鹿野の高原で生
まれた紅茶は、ゆっくり
した鹿野の雰囲気そのも
のを表現したような、ほつ
とした紅茶であると感じ
ました。これぞ鹿野の紅
茶と言うのに、ふさわし
い味だったと思います。

この紅茶は、「朝霧紅
茶」の名前で、すでに大
田屋さんで販売が開始さ
れています。皆さんもぜひ、
この味をお試しくだ
さいね。

鹿野茶の歴史

以前、「えーる！」でも取り上げましたが、今回もう一度鹿野茶についても触れておこうと思います。

鹿野とお茶の関わりは、一三七四年に漢陽寺を開山された「用堂明機禪師」が中国からお茶の種子を持ち帰られたことから始まります。江戸時代には、藩主の飲茶用にもご用命をうけるばかりか、江戸への献上品となるなど、全國的なブランドともいえる存在だったんですよ。明治時代に製茶は全盛期を迎えて、鹿野から神戸・長崎に派遣され、外国人向けに製茶の方法を教える方がいらっしゃったなど、鹿野はお茶については先進的な地域だったことをうかがわせます。

かつては農家の副業としても奨励され、年間八トンものお茶を製造していた鹿野ですが、現在は自家用を中心の細々とした生産を行なうことにどまっています。しかし、かつての名残か、今でもお茶の木は鹿野のあちこちに息づいていますよ。「えーる！」でも折に触れて紹介してきた、鹿野茶の甘味を感じるようなおいしさの裏には、六〇〇

年以上も続く「鹿野茶の歴史」が隠されているんですね。

鹿野茶の新たな歴史

今回紹介した「鹿野和紅茶」の誕生は、長年続いた鹿野茶の歴史に、新しい一ページを刻むことになった出来事だと思います。

この紅茶が作られるきっかけというのはごく単純なものでした。「鹿野茶で紅茶ができるだろ？」……その思いつきが、新しい歴史の始まり。すべてが手作りの鹿野茶ですから、紅茶にする作業も、手間暇を惜しまなければ行なうことができたんです。

生産者の一人である斎藤さんは、元々の紅茶好きが高じて、鹿野茶の加工を始めました。三年間の試行錯誤の末、ついに納得のいく紅茶を完成させたんです。鹿野和紅茶は、決して一朝一夕に生み出されたものではないんですね。

それぞれで味や風味が少しずつ違ってきます。生産者である安永さん、斎藤さん、そして農家レストラン「たぬき」の寺戸さんのお茶を、それぞれ飲み比べてみても楽しそうですね♪

鹿野市で堪能しました

わたしが「ひつておかえり 鹿野市」を訪れたのは三〇日でしたが、すでにお持ち帰り用の鹿野和紅茶の茶葉は売切れました。大人気ですね！

会場では従来の製法で淹れられた鹿野茶もふるまわれていたので、どちらの鹿野茶も味わうことができました♪ 同じ茶葉からできていただけあって、やさしい味は共通していましたが、製法一つでこんなに違う風味になるものなのか、と驚いたものです。

鹿野市では、上市自治会の皆さんによる野菜たっぷりの豚汁販売や、炭火で焼いた「焼き柿」が無料でふるまわれるなど、他にもたくさん「秋の味覚」を味わうことができました。会場では鹿野中学校の生徒さんがスタッフとして参加され、若い元気な声が響いていました。今回で一〇回目の「鹿野市」は、鹿野茶以外も大盛況でしたよ！ 会場にはにぎやかな声が響き、あちこちで久しぶりに会った友達と挨拶を交わしたりと、笑顔の絶えない素敵イベントになったと思います。次回の鹿野市も、こうじ期待！

次は花火ですよ♪

会場では、十二月に開催予定の、かの冬花火「銀嶺の舞」のPRも行われていました！ 来月に開催を控えた銀嶺の舞も、二〇年以上続く、鹿野の冬を語るに欠かせない風物詩になっています。イベント成功のため、一発でも多い花火を打ち上げるためにも、皆様の協力が必要です。現在、協賛金の受付を鹿野総合支所産業土木課等で行っています。平成二八年ももう少しですが、最後の最後まで、鹿野をにぎやかに盛り上げていきましょう♪

